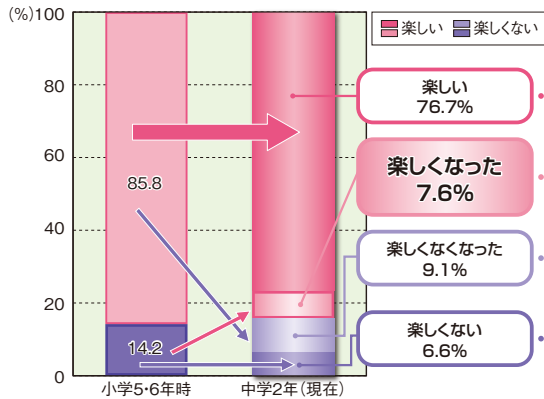


4. 「保健体育の授業が楽しくなった」生徒と、保健体育の授業についての意識との関連

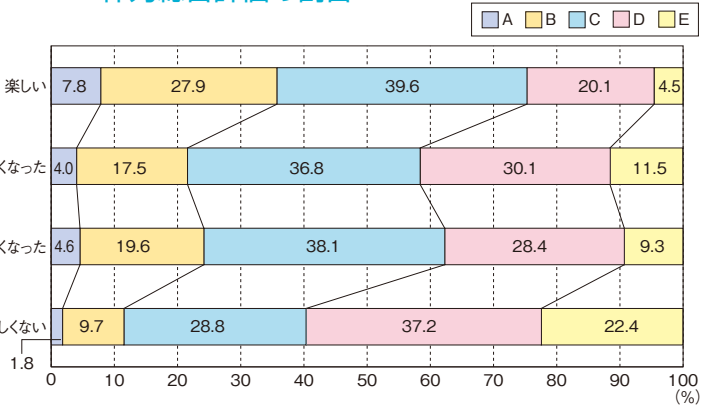
1 | 男子の特徴

- ① 「保健体育の授業が楽しい」に対して、「小学5・6年時から中学2年（現在）」の回答の推移は、「楽しい」ままだが76.7%、「楽しくない」ままだが6.6%であった。
- ② 「保健体育の授業は楽しい」に対する回答の推移別に体力総合評価を比較すると、A・B層の割合は、「楽しい」で最も高く、「楽しくない」で最も低かった。

〈1〉「保健体育の授業が楽しい」の回答の推移



〈2〉「保健体育の授業が楽しい」の回答の推移別にみる体力総合評価の割合



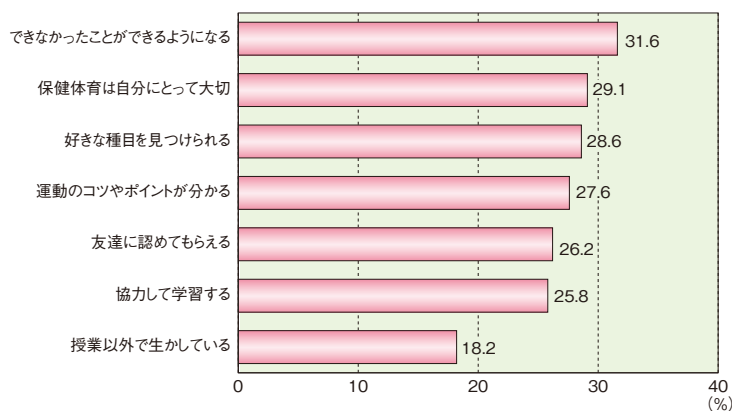
〈3〉保健体育の授業についての意識と、「保健体育の授業が楽しくなった」割合との関連

※保健体育の授業についての意識に関する質問項目で、過去(小学5・6年時をふり返って)と現在(中学2年)で比較可能な項目を対象に、双方肯定的回答をした生徒、双方否定的回答をした生徒、肯定的回答から否定的回答に変化した生徒、否定的回答から肯定的回答に変化した生徒のうち、「保健体育の授業は楽しい(楽しかった)」について、小学5・6年時では否定的に回答をし、中学2年で肯定的に回答した(楽しくなった)生徒の割合を、「決定木分析(10ページ参照)」の手法を用いて分析した。

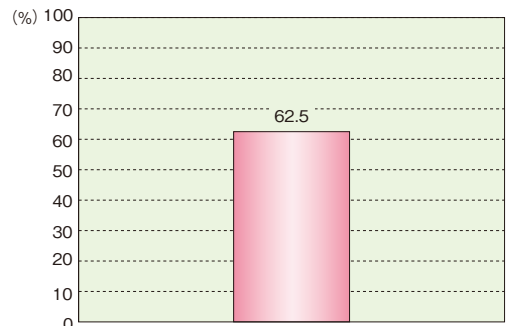
- ① 「保健体育の授業が楽しくなった」割合が高かったのは、「できなかったことができるようになる」、「保健体育は自分にとって大切」、「好きな種目を見つけられる」に対して、それぞれ小学5・6年時では否定的に回答をし、中学2年で肯定的に回答した(思うようになった)場合であった。
- ② 複数の質問項目の組み合わせにおいて、「楽しくなった」割合は、「できなかったことができるようになる」、「保健体育は自分にとって大切」、「好きな種目を見つけられる」の3つの質問項目すべてについて「思うようになった」場合が、62.5%と最も高かった。

保健体育の授業が「楽しくなった」割合

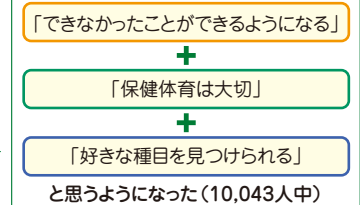
●保健体育の授業についての項目(思うようになった)別



●保健体育の授業が「楽しくなった」割合が最も高くなる組み合わせ



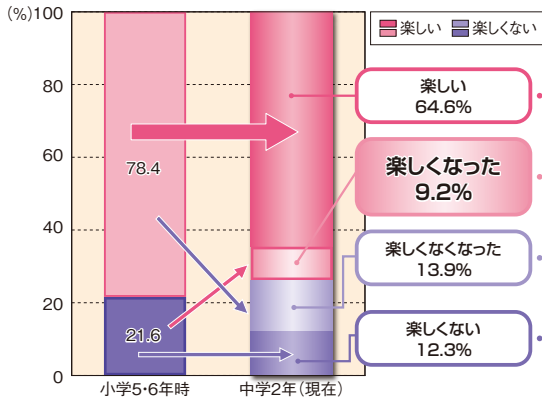
保健体育の授業が楽しくなったのは、中学2年男子全体(524,208人)では7.6%であったのに対し、「できなかったことができるようになる」と思うようになり、かつ、「保健体育は大切」と思うようになり、かつ、「好きな種目を見つけられる」と思うようになった10,043人中では、62.5%であった。



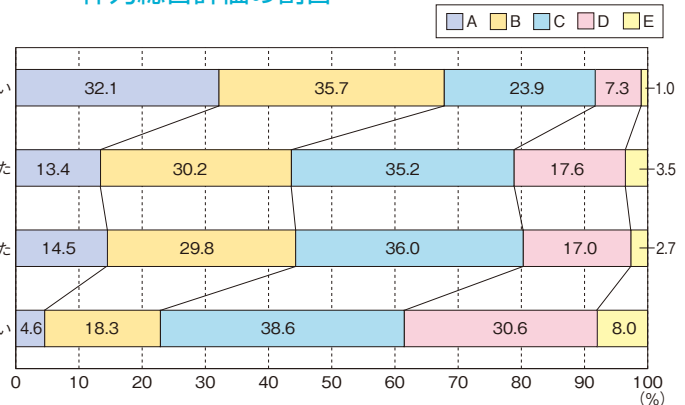
2 | 女子の特徴

- ①「保健体育の授業が楽しい」に対して、「小学5・6年時から中学2年（現在）」の回答の推移は、「楽しい」ままだが64.6%、「楽しくない」ままだが12.3%であった。
- ②「保健体育の授業は楽しい」に対する回答の推移別に体力総合評価を比較すると、A・B層の割合は、「楽しい」で最も高く、「楽しくない」で最も低かった。

〈1〉「保健体育の授業が楽しい」の回答の推移



〈2〉「保健体育の授業が楽しい」の回答の推移別にみる体力総合評価の割合



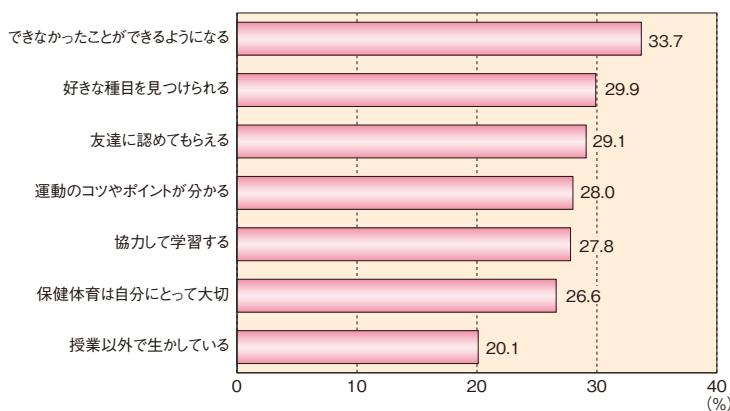
〈3〉保健体育の授業についての意識と、「保健体育の授業が楽しくなった」割合との関連

※保健体育の授業についての意識に関する質問項目で、過去(小学5・6年時をふり返って)と現在(中学2年)で比較可能な項目を対象に、双方肯定的回答をした生徒、双方否定的回答をした生徒、肯定的回答から否定的回答に変化した生徒、否定的回答から肯定的回答に変化した生徒のうち、「保健体育の授業は楽しい(楽しかった)」について、小学5・6年時では否定的に回答をし、中学2年で肯定的に回答した(楽しくなった)生徒の割合を、「決定木分析(10ページ参照)」の手法を用いて分析した。

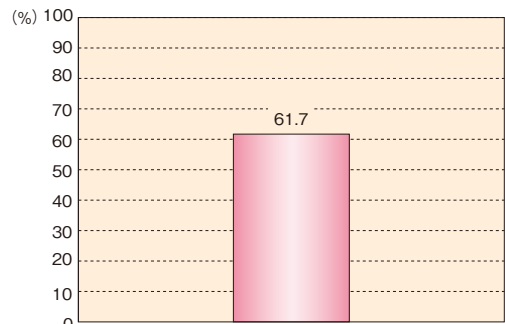
- ①「保健体育の授業が楽しくなった」割合が高かったのは、「できなかったことができるようになる」、「好きな種目を見つけられる」、「友達に認めてもらえる」に対して、それぞれ小学5・6年時では否定的に回答をし、中学2年で肯定的に回答した(思うようになった)場合であった。
- ②複数の質問項目の組み合わせにおいて、「楽しくなった」割合は、「できなかったことができるようになる」、「保健体育は自分にとって大切」、「好きな種目を見つけられる」の3つの質問項目すべてについて「思うようになった」場合が、61.7%と最も高かった。

保健体育の授業が「楽しくなった」割合

●保健体育の授業についての項目(思うようになった)別



●保健体育の授業が「楽しくなった」割合が最も高くなる組み合わせ



保健体育の授業が楽しくなったのは、中学2年女子全体(501,558人)では9.2%であったのに対し、「できなかったことができるようになる」と思うようになり、かつ、「保健体育は大切」と思うようになり、かつ、「好きな種目を見つけられる」と思うようになった10,332人中では、61.7%であった。

「できなかったことができるようになる」
+
「保健体育は大切」
+
「好きな種目を見つけられる」
と思うようになった(10,332人中)